

ハウスサクランボ特報

令和元年7月4日
J A 中野市営農センター
J A 中野市サクランボ部会

本年の加温ハウスの出荷量は約 10 t でした。出荷へのご協力ありがとうございました。
収穫後は園地へ足を運ぶ回数が減ってしまいがちですが、今後はハダニ防除や夏季剪定・かん水など、次年度に向けて重要な管理作業を徹底しましょう。

1. 夏季管理

- 1) 夏季剪定の実施、光線の透過率を確保する。(弱樹勢の場合は行わない)
- 2) かん水・・・特に夏季は1週間に1～2回かん水を実施する。(双子果対策)
- 3) 下草管理・・・隣接園へのスリップス類被害防止

バスタ液剤、ザクサ液剤、 プリグロックス L 等を使用する

2. 病虫害防除 隣接園に飛散しないよう注意する

7 月上中旬	水	100ℓ 当り	散布量 ℓ・散布日 7 月 日
	展着剤	10mℓ	
	カネマイトフロアブル	100mℓ	
	トレノックスフロアブル	200mℓ	
	アルバリン顆粒水溶剤	50g	
		(収穫 7 日前、1 回)	
		(収穫 21 日前、5 回)	
		(収穫前日、2 回)	
適用病虫害	褐色せん孔病・ハダニ類・カメムシ類		
散布量	10a 当り SS 500ℓ・動噴 600ℓ		

7 月下旬	水	100ℓ 当り	散布量 ℓ・散布日 7 月 日
	展着剤	10mℓ	
	オキシラン水和剤	166 g	
	 スプラサイド水和剤	66 g	
		(収穫後～落葉期、3 回)	
		(収穫 7 日前、3 回)	
適用病虫害	せん孔病、カイガラムシ類、カメムシ類、(ケムシ類)、ショウジョウバエ類		
散布量	10a 当り SS 500ℓ・動噴 600ℓ		
注意事項	①キンセツ水和剤・オキシラン水和剤) 等、葉が軟弱傾向な場合や散布時間に注意する。(葉の薬害)		
	②ハダニ類 発生園は、ダニゲッターフロアブルの 2,000 倍(前日、1 回)を加用する。 *ダニゲッターは開花期の水稻にかかると不稔等の薬害が生じるため、飛散しないよう注意する。		
	③もんぱ病対策 フロンサイド SC500 倍(収穫 30 日前、1 回)1 樹あたり 50ℓ～100ℓ 土壌灌注を実施。 1 ヶ月後、放線菌資材(バイオ有機など)を 1 樹当たり 1 袋施用する。		

農薬(毒物・劇物)を購入の際には、印鑑をご持参下さい。